



成果指標				
成果指標	老人クラブへの加入率(会員数/60歳以上人口)を39.5%とする。			
指標設定の考え方	加入率の全国平均を目標とした。高齢者人口が増加しているにもかかわらず老人クラブ加入率は減少傾向にある。生活様式や趣味の多様化等による影響、若手会員の減少による活動組織の弱体化、老人クラブに対する社会の理解不足などを克服し会員数を増加させることは、将来的な自主運営や社会扶助の増進につながることを考える。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	0.395	0.395	0.395	0
実績	0.213	0.21	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	新規会員の獲得のために各単位クラブで様々な取り組みを実施しているが、増加に至っていない状況である。引き続き会員増に向けた取り組みを強化していく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	老人クラブ加入率が年々減少しており、会員増強が課題である。老人クラブでも勧誘活動を行っているものの成果が上がっておらず、引き続き会員増強を行っていく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題